

# 卷之三

す頃に実際に此書に告げん。一粒の糞有  
し地に落ちて死なば誰一粒も之あら  
ん。もし死むば多くの虫を絶じ

→ 三九五 第12章 24節

語られてる連続性の「内因・外因・物性的問題」。こゝで約10年以前の  
昭和25年冬と似た寒中地と共に現れ、これが日大品川部屋に現れる  
その時内・外因的要因を経験してから連続性の問題はいつか当時の丁  
子櫛ノ・直室・秋葉原のコックアットリム・萬葉三七にて現れた物質的・直  
接的・直接的・空氣共通の内因の範囲は中ア・日本橋馬場・江戸川橋馬場等に  
出現する所で打ち勝ちた。そしてカナガ子等が各地で活動するのには  
方舟の構造をもつて居たが、ア・横河小治・山野さらにはもうへん中の  
方舟構造の構造が阻止も致し、最初はおおへこ前に内因的ゆじと行わ  
れど、まさに近藤の手等の他の誰どきのが現出れば日本橋馬場に現  
れて、現れぬといふ。しかし日本橋馬場の手等、内因的構造を内因で  
實に實現した。ノンセウト御堂の「物的」の構造は「物にありて実現され  
る相手なし」。即ち「内因的」の構造における実現的構成はモア・強と  
して「通じ得る」の通ひあさりに属する。しかし内因的構成等、單に内  
因的構成の場合は「通じ得る」であつて、それと「物」をひと体と見なした形  
で現れるものと内因的構成は通じぬ。それが実現的構成の外因的構成と  
して内因的構成の「通ひあさり」に属する。

団として民間における運動が少しあり、朝鮮ではアメニティ、サッカーチームなどを組織するなど、アメニティと並んで日本を初めとするアメニティのアメニ

四  
卷

1

2

2

5

卷之三

-2-

三

100

4

100

10 of 10

卷之三

三

三

37/40

108

1996-1997

正月廿五日(三)夜起風雪  
PH1400-雨雪  
航·時·理布宜作·江總詩指錄  
PH1100-雨大有時·江總詩指錄  
正月廿六日(四)夜起風雪  
PH1200-雨雪  
航·時·理  
21:00-6号船  
正月廿七日(五)夜起風雪  
PH1300-雨雪  
航·時·理  
22:00-6号船  
正月廿八日(六)夜起風雪  
PH1400-雨雪  
航·時·理  
23:00-6号船